

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第45号 2014年9月

おいでよ！ 秋の実りがたくさん！！ ～ほたるの里～



ほたるの里は、木の実や花が咲き、木々の葉も色づき始めました。

コナラ、クヌギ、スダシイ、ギンナン、アケビ、ノブドウの実がなり、ぎん色のススキ、き色のキチョウ、オミナエシの花など・・・たくさん色がみられ、豊かな秋があります。

平成26年度ホタルメイト団体 人もホタルも輝く街へ！！私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社 NPO 法人高齢者福祉ネット NPO法人子どもネット八千代 NPO法人八千代オイクス

ガールスカウト千葉県第57回 株式会社千葉分析センター 共栄物流株式会社 クボタ環境サービス株式会社

CAC スイミングスクール勝田台 八千代ホタルフォーラム 有限会社 A 有限会社ふれあい総合企画 米本団地自治会 88 年会

夜の生き物探しを開催しました！

日時：平成26年7月28日（月）19：20～21：00

ルート：ふるさとステーション～ほたるの里 参加者：32人

「あっ！ホタルが光った！！」「ここにも脱皮中のアブラゼミがいた！！」など親子の驚きの声があちこちで聞こえる、ほたるの里夜の生き物探しでした。

講師の渋谷さんは、鳴き声を聞いただけで、昆虫の名前をあてます。「草の下から“ジー”と鳴くのは、クサキリです」の講師のアドバイスに、耳を澄ませました。「いた！いた！」「聞こえた！」とうれしそうな声が返ってきました。

新川べりを虫の鳴き声を聞きながら、ほたるの里に着きました。まず、目に付いたのは、光を使ったトラップです。そこには、ニイニイゼミ、カナブンなど昆虫が集まっていました。また柳の木のバナナトラップにはカブトムシがいました。肝心のハイケボタルは、ホタルハウスで5匹の飛翔を見ることが出来ました。また、なんと！ハクビシンの親子までいました。

トンボ池では、ザリガニ、スジエビの目に光を当て

ると赤く光ります。まるでルビーのようです。

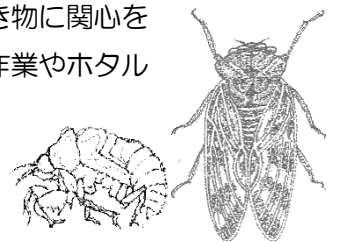
光のトラップにきたニイニイゼミは、動かないのでよく観察できました。

今回初めて、ほたるの里の生き物の夜の様子をじっくりと見ていただけるように、バナナトラップや光のトラップを仕掛けました。特にハイケボタルは光に弱いため、光トラップを仕掛ける場所に注意して設置しました。

また、役員会では、里の中を安全に歩け、楽しみながら観察できるように、歩くルートや草刈など検討し整備しました。

実行委員会としては、生き物に関心を持っていただき、里の整備作業やホタルなど生き物の環境づくりに協力し、楽しく一緒に活動する仲間を待っています！

（文：桑波田 絵：森）



ニイニイゼミ

ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会 石井食品株式会社 内田 美紀

日時：平成26年8月23日（土）9：00～11：00

場所：ほたるの里 参加者：90人 捕獲ザリガニ数：72匹

8月23日（土）に開催された「ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会」にホタルメイト会員として参加させていただきました。ザリガニ釣り大会も今年で9年目になりますが、今回の参加者は90人とこのことで、年々参加者数は増えており、ほたるの里の活動の広まりを感じることができました。これも、ほたるの里づくり実行委員会や八千代市環境保全課の方々、積極的に活動をされている結果だと感じております。

夏休みの終わりも間近でしたが、子どもたちもたくさん参加され、普段は静かなほたるの里に楽しそうな声が響き渡っていました。会場では、親子で協力してザリガニを釣っている姿や、子どもたちに負けず、お父さんやお母さんたちも真剣になっている姿がとても印象的で、幅広い世代の方々楽しんでいただけたことは、ホタルメイト会員のわたしたちにとっても非常に嬉しいことです。

大会の結果は合計72匹で、昨年よりも多くのザリガニを釣ることができました。1位の方が13匹も釣り上げており、釣る技術もレベルアップしているようです。また、当社から昨年に引き続き、ささやかながら大

会上位者・参加者への賞品を協賛させていただきました。お気に召していただければ幸いです。



水路でもザリガニが釣れました

ほたるの里の実行委員から、ザリガニはホタルの幼虫を食べてしまうためホタルが繁殖しにくくなってしまったり、外来種のアメリカザリガニが在来種に大きな影響を与えていることなどの説明もありました。参加者の皆様には、この大会を機に、生物多様性保全の重要性についてもご理解いただけたのではないのでしょうか。

在来種の中に外来種を放つのは簡単なことですが、それを元に戻すことがどれだけ大変なことなのかを、わたしたちも改めて実感し、この大会は生物多様性保全について楽しく学べる良い機会だと感じました。

多くのホタルが舞う日を期待して、今後ともほたるの里の活動に協力させていただきたいと思っております。

子ども環境教室『巣箱を作ろう！』

ほたるの里づくり実行委員会 深澤 一郎

八千代市立郷土博物館では、7月19日～9月15日まで「野鳥展 in 八千代」が開かれました。環境政策室では、この期間の8月6日に、小学4年生～6年生を対象に、「巣箱作りの体験学習会」を実施し、講師を担当しました。参加者は、小学生19人、保護者15人他、計39人でした。

初めに①八千代の野鳥について、②シジュウカラの巣作りから産卵・巣立ちまで、③庭に来る野鳥、田畑や新川周辺に来る野鳥等のスライド上映をしました。



「シジュウカラの卵は小さいけど、これより小さい卵はあるのですか？」の質問に、小学生の野鳥への関心の高さが伺えました。

工作は板をノコギリで切ることから始めたのですが、時間も掛かるのでキットとして準備しました。巣箱作りの作業は背板に底板をクギ止めに打ち付け、ノ

次に側板を2枚留めます。スタッフが牛乳パックを利用した、板の支え台を準備していただきましたので、組立て実演作業はスムーズに進みました。

各自の工作作業に移り自分でどんどん作業を進める

子ども、保護者に手伝ってもらう子ども等様々ですが、一斉にクギを打つ音が響き渡り壮観でした。クギが曲がったり、板の外に飛び出したりとスタッフの対応は大変でした。約1時間程で全員が巣箱を完成させ、最後に紙ヤスリで板を磨き滑らかにして作業は終わりました。

巣箱を完成させた子ども達の顔は嬉しそうな満足感にあふれ、アンケート結果も好評でした。

子ども達にはこれを機会に自然への関心が高まることを期待したいと思います。なお、試作した巣箱のうち3個は、ほたるの里の木々に掛けます。

環境保全とぼんぼこのふるさとをたずねるバス見学会

日時：9月7日（日）7：45～17：30 参加者：24人
行き先：東京都長池自然公園・江戸東京たてもの園

今回の先進地視察先は、八千代市からバスで2時間程の八王子市・長池自然公園です。こちらの長池自然公園、実は10年程前にも1度、実行委員会は訪れており、木々の緑も深く、以前と違う風景に驚いている方もいました。

まず、はじめの1時間は講義として、内野園長から現在の活動の説明と成果を、富永理事長から指定者管理としてのNPO法人FUJION長池の役割をお話いただきました。作業をする時は参加する方が楽しんでできるようなゲーム形式にすること、スタッフの特技を把握して適材適所の役割分担をすることなど、興味深いお話の数々に、参加者の皆さんは食い入るように聞き入っておられました。

お話の後は、内野園長の案内で長池や里山体験場、姿池等の公園内を回りました。湿地には、八千代では見られない、「サワギキョウ」の薄紫の花が咲いていました。また、公園内のあちこちに、わかり易く工夫をこらした案内板がおかれていたのが印象的でした。

午後には、小金井公園内の江戸東京たてもの園にノ

行きました。日本のさまざまな建築物が立ち並ぶほか特別展「ジブリの立体建造物展」もあり、多くの人であふれていました。ほたるの里のメンバーもそれぞれ興味のある建物を、自由に観覧していました。

今回の視察では、自然を残すには大変な労力が必要なことを実感したとともに、1人でも多くの人に協力してもらおう工夫をこらすことが今後の課題だと感じました。1人1人のできることが集まれば、きっとほたるの里にホテルはたくさん飛んでくれるはずです。

最後に、この度の先進地視察を開催するにあたり、ご多忙な中、公園管理の運営、管理の説明や、園のご案内をしていただいた、長池公園自然館の富永理事長、内野園長、皆様に感謝申し上げます。（事務局）



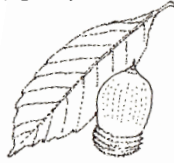
(富永理事長)



(内野園長)

ほたるの里 活動予定日

- 11月8日(土) 木の実(どんぐり) 調査/整備
～どんぐりの形をよく見てみよう～
- 1月17日(土) 整備
～巣箱をつけよう～
- 3月7日(土) 整備
～今年は、ニホンアカガエル来るかな～
(実施時間は各日とも 9:00 ~ 12:00)



ほたるの里作品展の開催

今年もほたるの里をテーマにした作品展を、開催します。期間中は、来場者の方による人気投票を実施します。あなたのおススメ作品に一票を！

- 日時 10月23日(木)正午～11月6日(木)正午
- 場所 イトーヨーカドー八千代店3階
*** 同時開催 ***
『谷津・里山作品展』 / 『グリーンカーテン写真展』

第11回サポートセンター祭りに参加します

- 日時: 11月16日(日)10:00～17:00
- 場所: フルルガーデン八千代 噴水広場
- 主催: やちよ市民活動サポートセンター祭り
実行委員会 八千代市
※ポスターコンクールにも参加します。
投票も是非よろしく！



ホタルメイト募集

- 年会費 (4月～翌年3月)
個人 1,000円 / 団体・事業所1口 2,000円
※登録申し込みの詳細については、下記連絡先にお問い合わせください。

第12回印旛沼流域環境・体験フェア

- 日時 10月25日(土) 11:00～15:00
26日(日) 10:00～14:00
- 場所 佐倉ふるさと広場向かい
- 主催 千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議

参加者
募集中

平成26年度

やちよ里山シンポジウム 生き物・里山・つなぐ

身近な公園の生き物に気づき、里山の豊かな生物多様性について、講師の豊かな経験からお話いただきます。里山への思いを次世代へつなぐ、シンポジウムです。

- 日時 10月11日(土) 13:30～16:30
- 場所 秀明大学 2号館 2101階段教室
- 参加費 無料 ■ 募集人数 100人
- 内容

・基調講演

「身近な生き物、里山の生き物とともに生きる」
講師 プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋氏

・事例報告

- 1) 「次世代を育てるための大学の取り組み」
秀明大学学校教師学部 准教授 寺前 洋生氏
- 2) 「里山とイノシシの関係」
合同会社 AMAC 代表 浅田 正彦氏

・パネルディスカッション

「生き物との関わりと次世代へつなぐ」

- 行き方 東葉高速鉄道『八千代緑が丘駅』よりちばレインボバス(船尾車庫・木下駅行き)に乗車後、『秀明大学』で下車。
- 申し込み 10月1日(水)までに八千代市環境政策室(Tel. 047-483-1151)へご予約ください。
- 主催 八千代市環境保全課環境政策室



参加者
募集中

平成26年度里山整備 ボランティア人材育成講座 里山楽校

全7回(すべて土曜日)の講座です。ぜひ、ご参加を。

- 日程 平成26年10月4日、11月1日、15日、22日、12月13日、平成27年1月17日、31日の10:00～15:00
(11月15日のみ8:00～17:00)
- 場所 ふれあいプラザ及び周辺の里山 ほか
- 参加費 2,000円 ■ 募集人数 先着20人
- 申し込み 名前、住所、電話番号、年齢、性別、簡単な志望動機を記載のうえ、郵送・FAX・メールのいずれかで環境政策室へご連絡ください。